

2019年12月22日(日) -平潟沖-

このところ、平潟の遊漁船でタチウオが好調。一人百尾くらいの爆釣が続いている。何時予約をいれるか迷っていたが、天気予報や釣れ具合をみて22日(日曜)に予約を入れることにしました。「とも丸」さんは人気の遊漁船なので、数人単位の予約は難しいが、一人なら数日前でもなんとかなることが多い。気になるこのところの釣果は、日によって外れも出てきて、前日の土曜日は駄目だったようだ。昨年も私が乗船した時だけ釣れず、その前後は爆釣という嫌なことを思い出す。

この時期の集合時間は5時半。出港は6時。我が家から平潟までは、30分と近いこともあり時間の計算ができるので、集合時間に合わせて到着すると、すでに岸壁は車で一杯。遠方からのお客さんも多いらしく、早くから到着しているようだ。「第11とも丸」のところで待っていると、程なく若船長が現れて着座のくじ引きが始まる。何人か呼ばれたところで、今呼ばれなかった人は「とも丸」に行つてとのこと。どうやら、私は親父さんの船のようだ。そちらに移動すると、「右舷のともから2番目ね」とのこと。

水深50m弱のポイントに到着すると、すでに船団が出来ており、探検丸スマートを見ると凄い反応がでている。「はいどうぞ」との言葉とともに、まずは、ベイトタックルでジグを投入。昨年の経験から、フリーフォールだとかかなりの確率でラインブレイクするので、一投目は身長にテンションをかけながら落とししていく。すると、またしても一投目でラインブレイク! すぐさまセットしてあるスピニングタックルに切り替えて釣りを再開。すると、いきなりの爆釣モードに突入。船中もタチウオ祭りです。ジグを落としては上げるだけの漁労作業で、釣りとしては面白みにかけるが、大きいものは指5本くらいなので、引きは結構強く時々休みを入れないと体力が持たない。とはいっても、注意していても時折ジグを切られてしまうので、その交換が丁度よい休憩。もちろん、5本も切られると痛い出費になりますが・・・もちろん、タチウオ用のワイヤーリーダーを入れていますが、ワイヤーの上やメインのPE、ワイヤー部分も何本も釣っているうちに切れてしまいます。タチウオの歯は恐ろしい!! 私

のクーラーボックスは30リットルなので、30本も釣ると満タンになってしまいます。途中からは、大型以外はリリースを繰り返していましたが、さすがに10時過ぎには満タンに近づき自主的な休憩モード。船中も半分は休憩モード。ここで船長から、もう満足でしょうか? 終わりますか? との声。通常は昼過ぎに沖上がりですが、2時間ほど早い沖上がりとなりました。

とも丸さんのサイトへ

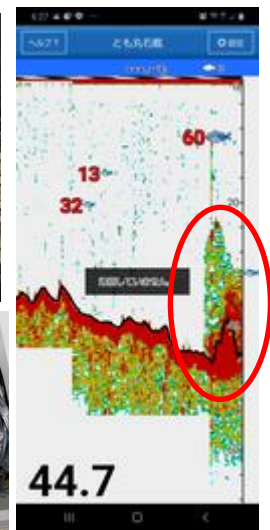
*探検丸スマートとは [シマノのHPへ](#)
とも丸さんは、両船とも導入しているようですが、私のスマホが悪いのかたまにしか繋がりません・・・



岸壁前が駐車場となっていますが、集合時間の30分まえには一杯になっていました。



沖にはすでに船団が出来ていました。



左上: 両型のタチウオと当たりカラーの紫
右: 探検丸スマート*の画像。強烈な反応です。



生き残ったジグ。歯形でボロボロです